

シンポジウム オペラ・アリアの実演付き

バロック・オペラとイタリア叙事詩

タツソ『解放されたエルサレム』と芸術作品



2025年3月23日(日)13:00~17:40(開場:12:30)
東京藝術大学上野キャンパス音楽学部5号館109番教室

事前登録制 入場無料 (座席数に限りがありますので先着順となります)

参加希望者は3月21日(金)までに下記URLまたは右下のQRコードよりご登録

https://docs.google.com/forms/d/1y9gxDIprLMemu0hV_pwGkF17NHyxIqMx80dSCrxgv-w/edit

または下記問い合わせ先メールアドレスに申込みをお願い致します。

13:00 開会挨拶 趣旨説明

発表1 イタリアとフランスのオペラ台本における『解放されたエルサレム』
大崎さやの(東京藝術大学)

発表2 フランスにおける《アルミード》の変容 —リュリからグルックへ
森佳子(早稲田大学)

発表3 18世紀ロシアにおける『解放されたエルサレム』にもとづくオペラの上演
—宮廷劇場と農奴劇場を中心に
森本頼子(名古屋音楽大学)

発表4 ロンドンにおけるイタリア・オペラ黎明期に上演されたヘンデル《リナルド》の特徴
吉江秀和(杏林大学)
質疑応答 休憩

15:10 演奏1

発表5 18世紀ドイツ諸都市における『解放されたエルサレム』にもとづくオペラ
—C.H.グラウン《アルミーダ》を中心として
大河内文恵(東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校)

発表6 魔女オペラと《オルランド・フリオーズ》
辻昌宏(明治大学)

発表7 『解放されたエルサレム』の絵画化 —17世紀イタリアの事例から
新保淳乃(武蔵大学)

演奏2 横山義志(学習院大学、SPAC-静岡県舞台芸術センター)、上西明子(東京藝術大学)によるコメント 質疑応答
閉会挨拶

♪演奏♪

枝 紀花(ソプラノ、修士2年)

小泉莉穂(ソプラノ、修士1年)

寺内詩織(バロックヴァイオリン、別科1年)

前川陽香(チェンバロ、修士2年)

お問い合わせ: [osaki.sayano\[at\]ms.geidai.ac.jp](mailto:osaki.sayano[at]ms.geidai.ac.jp) ([AT]を@に置き換えてください)

主催:科学研究費基盤(B)「啓蒙期ヨーロッパの芸術における「他者」の総合的研究」(研究課題番号:24K00051)

協力:東京藝術大学音楽学部 古楽研究室

後援:早稲田大学総合研究機構オペラ/音楽劇研究所 西洋比較演劇研究会 日本18世紀学会

科研費
KAKENHI

